

# かわぐち

2007. 10月号 No.408

今月の主な内容

- おかげ様感謝月間はじまる…… 2～3
- 町議会で泉水小学校・田麦山小学校の統合を議決…… 4
- 名誉町民 桜井徳太郎さん死去…… 5
- 町営バスの運行内容の変更  
～スクールバス乗合便廃止に～…… 6
- 災害に備えた確認を…… 7
- 平成18年度決算の概要…… 8～11

ほか



## 2年ぶりに復活、地域に笑顔

### — 小高地域大運動会 —

9月23日、西川口小高センター脇広場で第53回小高地域大運動会が行われました。

この運動会は小高地区で雨天でも中止にすることなく半世紀以上続けられてきました。西川口小高地区に集団移転してから初めての運動会で、2年ぶりの実施となります。

ビン釣り競争や豆拾い競争など全15種目の競技には旧小高地区の住民やボランティアも駆けつけ一緒に参加、心地よい汗を流しました。笑顔の絶えない運動会に地域の団結はさらに強まりました。

震災を乗り越え、新しい地で復活した運動会は次代へ受け継がれていきます。

## かわぐち いきいきびと

### コーラスかわぐち

平成元年から活動を始め、毎週月曜日に交流体験館「杜のかたらい」で練習しています。現在会員は19名で、震災後にメンバーが増えました。

今年はおかげ様感謝デーのBBVゴスペルコンサート、芸能発表会、魚沼市で行われる「音楽の夕べ」、クリスマス音楽発表会で歌う予定で、練習に励んでいます。

合唱は感動を与えてくれます。ぜひ一度聴いてください。



誕生15周年記念コンサートでの写真

### 合唱の楽しさを伝えたい

代表 金子 ヒナ

コーラスかわぐち、では毎年歌う曲を決めて練習しています。今年は「秋桜（コスモス）」と「ふるさと」です。「ふるさと」は山や川といった永遠に川口の人々の心に生き続け元気をくれる風景を思い出させてくれる曲で、設立時からずっと歌い続けています。

選曲には気をつけており、歌う人・聞く人がどこかで聞いたことのあるものにしていきます。詩の言葉、意味を大事にして、曲の雰囲気を感じ取りあげて歌うように練習しています。

合唱はスポーツと同じチームプレーです。それぞれのパートをしっかりと歌う責任があります。コーラスかわぐちのメンバーは、穏やかでまとまりがあり、表現について話し合いをしながら練習しています。

合唱にはみんなで一つの曲をつくりあげていく楽しさ、できたときの大きな感動、音楽を通しての様々な出会いがあります。これからもみんなで歌いながら曲をつくる合唱の楽しさと音楽の輪を広げていきたいと思っています。

## 応援サポーター

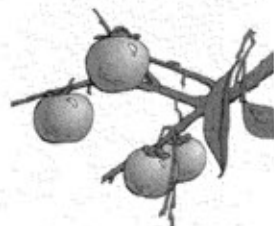
銘菓  
川口おどり太鼓  
いおの  
川口小唄

御菓子司  
**龍昇堂**

TEL 0258-89-2039 FAX 0258-89-2312  
北魚沼郡川口町大字川口 1954-3

### ○広報かわぐちの広告の規格など

- 規 格 枠サイズ 縦45mm×横84mm
- 刷り色 黒
- 掲載期間 1号単位で、最長12号連続掲載できます。(なお、広告枠に空きがある場合は、更新できます。)
- 掲載料 1号 5,000円以上
- 掲載枠数 最大4枠
- 申込締切 毎月15日
- 問い合わせ 企画商工課 ☎89-3112



# おかげ様感謝デーイベントガイド

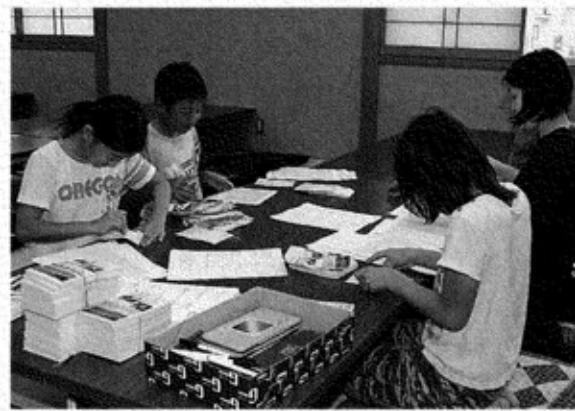
イベント名	期日	時間	場所	内容
感謝のメッセージボード	10月中		公共施設	感謝のメッセージを掲示します。
黄色いフラッグ大作戦	10月中		各家庭など	感謝の黄色いフラッグを各家庭が工夫して掲示します。
感謝のはがき大作戦	9月末～10月上旬			お世話になった方へ礼状を届けます。
写真・映像展「3年の軌跡」	13日～22日	10時～17時	生涯学習センター 交流体験館	被災現場写真や復旧経過写真などを掲示します。被災時のニュース映像を放映します。
BROWN BLESSED VOICE (ブラウン プレズド ボイス) (BBVコンサート実行委員会主催)	13日	15時～17時	生涯学習センター	栃木のゴスペルグループとコーラスかわぐちの共演(入場無料)
相川地区「復旧状況視察」		15時～17時	ふれあい交流館サンウッド	復旧状況の視察、長昌寺住職の歴史話、お米プレゼント(先着30名、申込はおかげ様感謝デー実行委員会事務局まで)
木沢地区「おかげ様感謝デー」		16時	旧木沢小学校	キャンドルで感謝メッセージを送ります。(点火は17時30分)
中山地区「感謝イベント」		11時	樹土木駐車場	秋の味覚鍋の提供、地元野菜の格安販売、紫芋掘り体験
西川口地区「仮設に行って恩返し」		未定	未定	中越沖地震の被災者にお餅を振る舞います。
震災復興グラウンドゴルフ大会		9時～13時	川口小学校	全員で楽しむことが目的です。賞品多数あります。
牛ヶ島集落「感謝イベント」		11時～15時	牛ヶ島公民館	復興の現状や住民生活の様子を語り合います。けんちん汁・焼きそば・飲み物を提供します。
よってげてえふれあい市	14日	11時～15時	東川口本町通り	あゆ飯や熊汁などの日のために地域の皆さんがおもてなしの準備をしています。中越沖地震の被災者を招待し元気づけます。
東川口地区「よってげてえふれあい市」		11時～15時	東川口本町通り	珍しい熊汁を500人鍋で用意します。(有料)
和紙工芸品の販売(和紙工房おひづるの会)		11時～15時	東川口本町通り	よってげてえふれあい市に合わせ和紙工芸品を安価で販売します。(ふれあい市にて)
「震度7の町」感謝と復興への祈念式典(町主催)		14時～18時	生涯学習センター	支援をいただいた方に感謝状の贈呈と体験報告、復興報告会を行います。終了後は交流会を行います。
感謝メッセージ&お菓子プレゼント(ネクコス東日本主催)			関越道越後川口SA	レストラン利用者に感謝メッセージとお菓子のプレゼントをします。
ONE LOVE川口フェスティバル(たつまき堂主催)	20日	11時～19時	スパーク川口周辺	野外イベントを中心としたアーティスト・DJによるライブ演奏ほか(入場無料)
田麦山地区「防災避難訓練」と復興祭		17時56分	田麦山小学校	震災発生時刻に合わせ避難訓練、カレーの炊き出し後に復興祭を行います。
和南津地区「絆の道ウォーク」		9時30分～	和南津集会所	国道不通時の生命線である旧三国街道を歩いた後、中越地震を語り合います。
ふれあい朝市(町商工会主催)		7時～8時	役場駐車場	特売品、マグロの解体実演、おたのしみ抽選会、おかげのサービス
震災復興祈念「川口町錦鯉品評会」(町養鯉組合主催)	21日	10時～14時	ふれあい交流館サンウッド	町の錦鯉が一同に集まり、美しさ・出来栄を競います。
駅からハイキング(JR東日本越後川口駅主催)		10時30分	町内	震央街道、風景街道、川口温泉、木沢を巡るハイキング
武道窪地区「感謝イベント」		11時～14時	子育て支援センターすこやか	魚沼産コシヒカリのおにぎりとトン汁を提供します。
西川口地区「キャンドルで感謝の思い発信」		17時	あおりの里	キャンドルで感謝メッセージを送ります。豚汁と飲み物を提供します。カラオケ大会も行います。
荒谷地区「復旧状況視察」	22日	9時～12時	荒谷会館	復旧状況を案内します。(のぼり旗で歓迎します)
中越大震災川口町3周年追悼式(町主催)	23日	17時50分～18時30分	川口中学校	中越大震災で犠牲となられた方々のご冥福をお祈りし、追悼式を行います。
中越大震災から4年目をむかえて-10.23追悼式典-(10.23追悼式典実行委員会主催)		18時～21時	川口中学校グラウンド内	「キャンドル&ライブ」キャンドルデコCandlejune(キャンドルジュン)ライブYae(ヤエ)
中越大震災・中越沖地震復興祈念物産展(町観光協会主催)	28日	9時30分～16時	えちご川口ホテルサンローラ前	特産物販売、よさこい、金魚すくい、子どもコーナー
中越沖地震被災者応援事業(川口町農村地域生活アドバイザー主催)	未定	未定	未定	中越沖地震の被災者のみなさんへ応援メッセージとともに手作りあんぱやおにぎりを届けます。
復興祈念酒の販売(町酒小売店組合主催)	-	-	-	支援者への感謝と、復興を祈念した日本酒を販売します。



▲東川口保育園で掲げられた黄色いフラッグ

黄色いフラッグで感謝と激励の気持ちを表しましょう  
 役場庁舎や生涯学習センターなど5箇所の公共施設には、町内小中学校の児童・生徒たちが感謝の思いを込めて書いた約400枚のフラッグを掲げました。また学校や保育園にも掲げられ、各施設は鮮やかな黄色と感謝の言葉で埋めつくされました。

10月中をおかげ様感謝月間として、この期間、町民みんなで全国の皆さんへの感謝、中越沖地震の被災地への激励の気持ちを表します。各世帯に配布した黄色いフラッグを掲げ、感謝のはがきをお世話になった方に送付してください。皆さんの協力をお願いします。



▲感謝のはがき発送作業

東川口保育園では、「ありがとう元気でがんばっていきます」の文字と園児たちが描いたかわいい絵を掲げました。黄色いフラッグは各世帯に1枚ずつ配布しましたので、感謝の言葉を書いて玄関先などに掲げましょう。

お世話になった方に感謝のはがきを送りましょう  
 9月末に中越地震でお世話になった全国のボランティアに、合わせて約1万枚の感謝のはがきを送りました。  
 9月19日、この感謝のはがきの発送作業を生涯学習センターで延べ60名が参加して行いました。

宛先のラベル貼りや感謝メッセージの書き込みをそれぞれ参加できる時間まで作業、子どもたちも参加して約6時間行いました。

参加者は、はがき一枚一枚に感謝の思いを込めながらメッセージを書いていきました。皆さんのご協力ありがとうございました。

各世帯に感謝のはがきを2枚ずつ配布しましたので、お世話になったボランティアや親戚・兄弟などに感謝の気持ちを込めてはがきを送りましょう。

フラッグやはがきを配布枚数以上欲しい方は各地区の連絡長に余分に配布していますので、お申し出ください。

問い合わせ  
 震災復興おかげ様感謝デー  
 実行委員会事務局  
 (総務課内) ☎89-3111

## 「おかげ様感謝月間」始まる

全国の皆さんに「ありがとう」、被災地に「がんばるぞい」の気持ちを伝えたい  
 震災復興「おかげ様感謝デー」

町議会9月定例会で

「泉水小学校」、「田麦山小学校」の来年度の統合を議決



今年で創立82周年の泉水小学校(上)と創立134周年の田麦山小学校(下)

町議会9月定例会で泉水小学校と田麦山小学校の川口小学校への統合に伴う学校設置条例の一部改正が行われ、平成20年4月1日に両校を川口小学校に統合することに決定しました。

よりよい教育環境を目指して

児童数の減少により平成19年4月1日現在、両校の全校児童数は泉水小学校30人、田麦山小学校28人で、両校ともに全学年で複式学級となっております。次年度以降も大幅な児童数の増加は期待できない状況にあることから、学校規模の適正化とより良い教育環境の確保が求められていました。

この結果、それぞれの保護者・地域のご理解をいただき、町議会9月定例会で来年4月1日川口小学校に統合する学校設置条例の改正が行われました。

閉校後の施設利用は

泉水小学校と田麦山小学校の閉校後の施設利用については、検討委員会を設置し、地域の皆さんと話し合いながら、検討を進めています。

問い合わせ 教育委員会 ☎89-2119

川口町初代名誉町民 桜井徳太郎さん死去



当町の和南津出身で初代川口町名誉町民の桜井徳太郎さんが8月27日亡くなられました。90歳でした。町では9月4日、その功績を偲び弔慰状と生花を送りました。謹んでお悔やみ申し上げます。

桜井徳太郎さん略歴

大正6年川口村(現川口

町)に生まれる。昭和19年東京文理科大学(現筑波大学)卒、同年東京高等師範学校助教授。昭和36年東京教育大学教授、昭和52年駒沢大学教授。昭和61年公選初代の駒沢大学学長に就任。平成3年同大学名誉教授となり、平成14年11月川口町初代名誉町民の称号を受ける。他に、日本民俗学会代表理事、日本風俗史学会会長などを歴任。紫綬褒章受章。

中越沖地震被災地を支援

町職員の派遣延138人に

当町では7月16日の地震発生から柏崎市や刈羽村、出雲崎町に職員を派遣し、被災地を支援しました。9月15日までの派遣人数は延べ138人で、応急給水や水道・ガス復

旧工事支援、家屋の被害調査、避難所での健康相談・健康管理、仮設住宅の入居受付、生活再建支援相談などの支援にあたりました。

中越沖地震の募金へのご協力

ありがとうございます

町内の施設(役場・生涯学習センター・えちご川口温泉・あぐりの里)に設置した中越沖地震の募金箱に5万7295円の募金がありました。この募金は全額、新潟県災

害対策本部の義援金取扱口座に振り込みました。皆さんからのご協力ありがとうございました。問い合わせ 総務課

☎89-3111

よってげてえふれあい市での募金を被災地に

本町通り復興活性化委員会は「よってげてえふれあい市」で能登半島地震と中越沖地震の募金をそれぞれ行いました。

能登半島地震の募金2万7643円は石川県穴水町に、中越沖地震の募金1万2892円は刈羽村に送りました。

県町村監査委員会会長に 桜井文夫さん



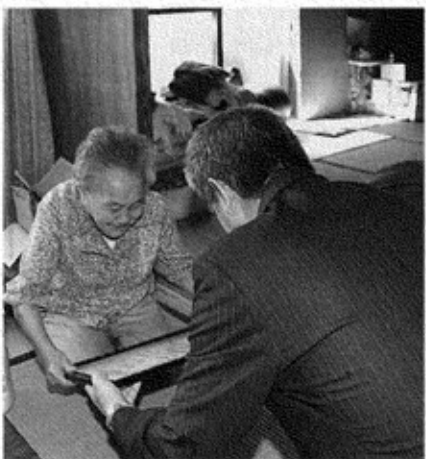
8月6日に開催された新潟県町村監査委員会総会において当町代表監査委員の桜井文夫さん(川口2)が同委員会の会長に選任されました。

新潟県町村監査委員会は県内町村の監査委員で構成され、監査実務の研修と監査の円滑適正な執行、監査委員制度の健全な進展を図り、地方自治の発展向上に努めることを目的としています。会長の任期は2年。

岡村町長、長寿者を表敬訪問

9月11日、敬老の日を前に岡村町長が95歳と100歳を迎えられた方を訪問し、長寿者11人にお祝い状と記念品を贈りました。

また、米寿(88歳)を迎えられた26人に町からお祝い状と記念品を、金婚を迎えられた19組の夫婦に記念品を贈り、長寿を祝いました。



▲お礼状を贈られた星野ヤスさん

10月1日から

# 町営バスの運行内容を変更します

## スクールバス乗合便を廃止

改正道路運送法により、10月1日から市町村運営有償運送の大型バス運転手は「大型2種免許」が必要となります。このため町営バスのスクールバス乗合便を廃止し、代替便として町内循環バス（黄色バス）を増便しますので、ご利用ください。

## スクールバス乗合便の運行が困難に

昨年、道路運送法が改正され、市町村運営有償運送の運



転手は「2種免許」が必要になりました。これまで1年間の猶予期間があったため、利用者のニーズを踏まえ、スクールバス乗合便を続けてきましたが、猶予期間の終わる10月1日からスクールバス乗合便を廃止します。

**10月1日からの主な変更内容は**

- スクールバス乗合便の全5路線（田麦山線、西川口線、木沢・峠線、相川・荒谷線、牛ヶ島線）を廃止します。
- 町内循環バス（黄色バス）

を早朝7時台に1便増便します。

- （峠・木沢→東川口本町通り→田麦山→西川口→東川口本町通り）
- 和南津線は、毎週火曜日（温泉休館日）に運休します。
- 路線バス及びJR線への乗り継ぎや冬期間の運行を考慮したゆとりある運行時間に変更します。（別途配布した町営バス運行時刻表をご覧ください。）

今後もしやすしいバスを目指していきますので、皆さんのご意見・感想をお願いします。

問い合わせ 企画商工課  
☎89-3112

## 日頃からの備えが身を守る

# 災害に備えた確認を

中越大震災から3年が経過しようとしています。7月には中越沖地震が発生し、いつ災害に襲われるかわからないことが実感されました。もう一度、私たちの身の周りを確認し万一の災害に備えましょう。

## 災害に備え、日頃から身の周りをチェック

万一災害が発生したときに、慌てず行動するため、普段から災害時の避難経路や避難所、緊急連絡網、非常時の持ち出し品、家族との連絡方法などを確認しておきましょう。

## 災害避難マニュアルを作成

町では地区別の「災害避難マニュアル」を作成し、全戸に配布しました。

この冊子にはご自宅付近の避難場所のマップや地震・洪水・土砂災害での避難時の注意事項、応急手当の方法、非常時の持ち出し品などが記載されています。

よく読んで、手に取りやすい場所に置き、万一の災害のときに活用してください。

## 10月1日から緊急地震速報がスタート

気象庁は10月1日から緊急地震速報の提供を開始しました。

この速報はテレビやラジオ



などを通じて、強い揺れがくることを数秒から数十秒前にお知らせする情報です。緊急地震速報を見聞きしたときには、慌てずに身の安全を確認しましょう。

問い合わせ 総務課

☎89-3111

## 「震度7の町」感謝と復興への祈念式典

支援をいただいた方々に感謝状の贈呈と体験報告、復興報告などを行います。

日時 **10月14日(日) 14時から**  
会場 **生涯学習センターホール（体育館）**  
式典内容

- 感謝状贈呈式 14時～14時30分
  - 派遣職員等体験報告・復興報告 14時30分～16時
  - 交流会 16時30分～18時
- ※会場に限りがありますので、希望者多数の場合は、抽選とさせていただきます。  
※式典に参加を希望される方は、10月9日(火)までに総務課にお申し込みください。  
※交流会に参加の方は、会費として3,000円当日徴収させていただきます。

問い合わせ 総務課 ☎89-3111

## 「新潟県中越大震災」川口町3周年追悼式

平成16年10月23日発生した「新潟県中越大震災」により犠牲となられた方々のご冥福をお祈りし、追悼式を行います。多くの方々のご参加をお願いいたします。

日時 **10月23日(火) 17時50分**  
(開場17時)

会場 **川口中学校体育館**  
※献花、供物等は一切ご遠慮申し上げます。

なお、新潟県長岡市他被災市町との共催による3周年合同追悼式が10月23日(火)10時から長岡市立劇場で開催される予定ですので、多数の皆様からご参加くださいますようお願いいたします。

問い合わせ 総務課 ☎89-3111

## 災害時に町を守る

## 消防団に入りませんか

近年、各地で大規模な自然災害が頻発しており、常備消防だけでは災害発生時の対応に限界があります。

地域を熟知しさまざまな職種の人たちで組織され、動員力のある消防団の活躍が期待されます。

こうした中、町消防団では、災害等に備えるため消防団員を常時募集しています。

入団資格  
18歳以上で町内に居住又は勤務している心身強健者。



### 活動内容

- ・ 火災発生時の消火活動
- ・ 自然災害発生時の防災活動
- ・ 人命救助、避難誘導等
- ・ 行方不明者の捜索活動
- ・ 火災予防、警備警戒活動等
- ・ 消防団員の身分
- ・ 特別職の地方公務員。

※女性の方、大歓迎。

入退団は自由です。

問い合わせ 総務課

☎89-3111



# 平成18年度

# 町の決算

### 〈基金の状況〉

会計区分	17年度末 現在高	18年度	
		現在高	町民1人当り 現在高
一般会計	11億9,266万円	11億5,270万円	217,162円
特別会計	1億210万円	9,570万円	18,029円
合計	12億9,476万円	12億4,840万円	235,192円

※町民1人当たり現在高は、平成19年3月末住民基本台帳人口5,308人で割った額です。

### 〈町債残高の状況〉

会計区分	17年度末 現在高	18年度	
		現在高	町民1人当り 現在高
一般会計	71億4,401万円	78億6,490万円	1,481,706円
特別会計	42億965万円	43億590万円	811,210円
合計	113億5,366万円	121億7,080万円	2,292,915円

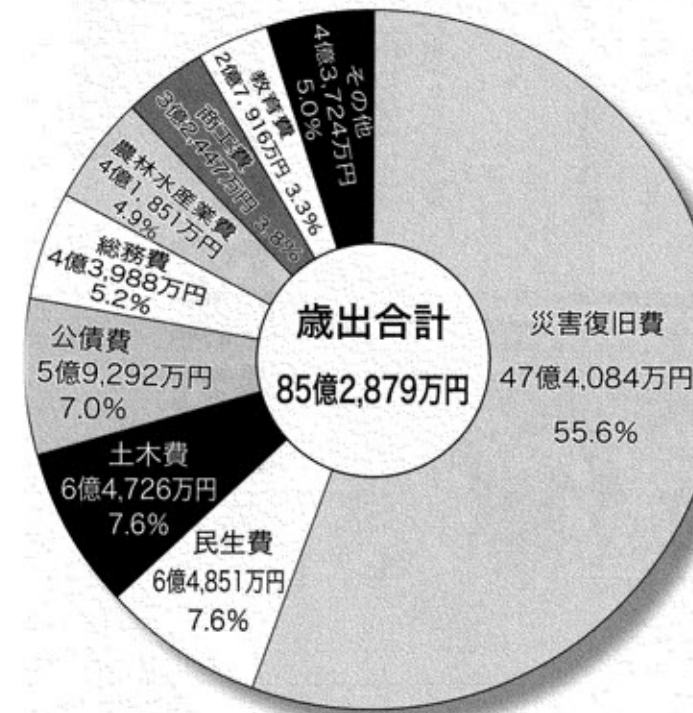
※町民1人当たり現在高は、平成19年3月末住民基本台帳人口5,308人で割った額です。

### 〈主な財政指標〉

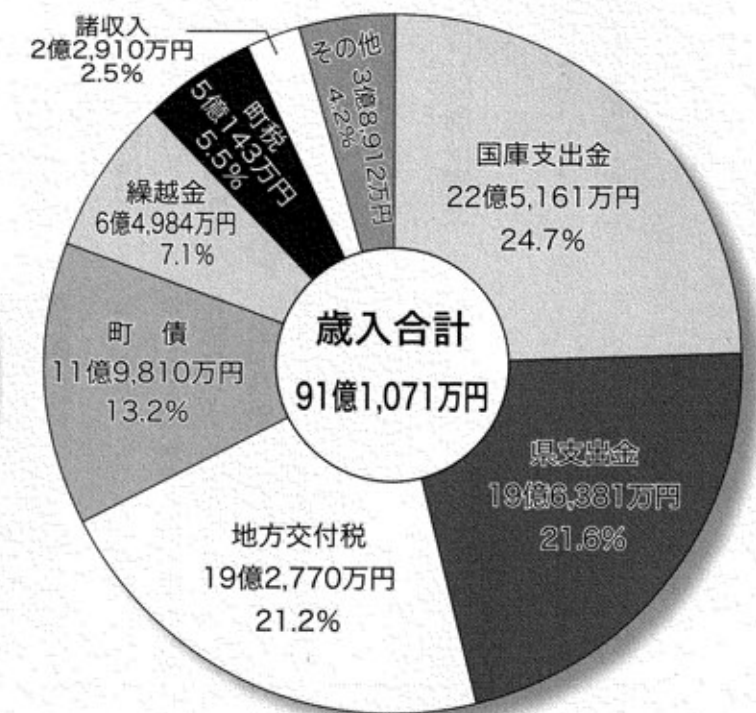
区分	18年度	17年度	16年度	説明
財政力指数	0.247	0.252	0.258	自治体の財政力を示す指標です。1に近いほど又は1を超えるほど財源に余裕があることとなりますが、前年度よりやや低下し、今後もこの傾向は続くものと見込まれ、厳しい財政運営が予測されます。
経常収支比率	91.1	89.4	93.8	一般財源のうち、人件費、事務費、公債費などの経常的支出の割合を示す指標で、70~80%が適正数値です。H18年度決算においては、扶助費・繰出金の増加が要因となり、前年度より1.7ポイント上昇し、財政の硬直化が進み更なる経費節減が必要です。
公債費比率	12.0	13.0	12.6	町債（借入金）返済額の一般財源に占める割合をいう。数値が低いほうが望ましいこととされていますが、H18年度決算においては、H5年度に借入れた過疎債の返済がH17年度で完了したため、1.0ポイント減少しました。過去に借入した町債の返済及び震災に伴う多額の災害復旧債の発行によりH21年度が償還のピークで、公債費比率は年々上昇する傾向にあります。今後は新規町債発行の抑制を更に進める必要があります。
実質公債費比率	18.2	—	—	税収や交付税など標準的な収入に対する実質的な元利償還金の負担の程度を示す指標です。この比率が18%以上の市町村が町債を発行する場合は適正化計画を策定し、発行の許可が必要となります。H19年度（H16年度～H18年度の3ヶ年平均）の指数は18.5で、今後も指数の上昇が見込まれ公債費の増加が大きな財政負担となります。

一般会計歳入 91億1,071万円  
一般会計歳出 85億2,879万円

### 歳出（一般会計）



### 歳入（一般会計）



町議会9月定例会において、平成18年度の決算が承認されました。

一般会計と5つの特別会計及びガス会計を合わせた歳出決算総額は、115億5,715万円となり、前年度より21億1,397万円の減額となりましたが、災害復旧工事の繰越により、昨年度に引続き大型決算となりました。

皆さんから納めていただいた税金をより良いまちづくりのために向けてどのように使われたかを知っていただくため、一般会計と特別会計の決算の概要についてお知らせします。

### 一般会計

平成18年度の一般会計の決算額は、前年度に引続き、繰越に伴う災害復旧経費の増大に伴い、前年度に比べ、歳入で7.4%の減、歳出で7.2%の減になったものの、平年の約2倍の決算規模となりました。歳入総額91億1071万円、歳出総額は85億2879万円、差引き5億8192万円を平成19年度に繰り越すこととなりますが、そのうち5億3001万円は災害復旧など使い道が決まっているお金で、実質5191万円の黒字となりました。

### 歳入の状況

歳入のうち自主財源（町が独自に確保することができるお金）は、17.8%で、残りの8割以上を地方交付税や国・県補助金、町債（借金）などに依存しています。

自主財源のうち町税は、前年度より5996万円多い5億143万円となり、個人町民税、法人町民税の伸びにより、震災後初めて増加しました。

一方依存財源のうち、地方交付税は19億2770万円、前年度より1億4965万円の減少、国・県支出金は繰り越された災害復旧事業の本格化により42億1542万円、前年度より10億6713万円の増加となりました。

また、町債（借金）は、災害復旧経費や罹災者公営住宅整備などに新たに約11億9800万円を借り入れしました。

### 歳出の状況

歳出では、災害復旧費が47億4084万円、前年度より11億9637万円増加し、歳出全体の55.6%を占めました。

被災家屋の収集運搬処分業務の事業完了により、衛生費が約13億円減少し、民生費においても、被災者生活再建支援事業、小規模住宅等解体業務の事業完了により約2億4800万円の減少となりました。

公債費（借金の元利返済金）についても、平成5年度に宿泊施設、公民館整備で借り入れた過疎債の返済が17年度で終了したため、約1億2100万円の減少となりました。しかし、19年度には7億3120万円、償還がピークとなる21年度には10億2000万円となる見込みで、税収の約2倍の額になり、厳しい財政状況が続くものと推計されます。

### 基金と町債の状況

町の基金（積立金）は12億4840万円（特別会計含む）で、昨年度より4636万円減少しました。一般会計では、当初の平成18年度末基金残高5億4000万円の見込みを11億5270万円とほぼ前年度末残高まで留保することができました。

町債（借金）は121億7080万円（特別会計含む）で、昨年度より8億1714万円増加しました。

一般会計では、捻出した財源で新たな町債発行を極力抑制することによって、当初89億9千万円の見込みを11億円余り減少の78億6490万円に抑制することができました。

しかし、平成19年度においても前年度から繰り越された災害復旧事業により多額の町債発行が予定されており町債残高は増加、平成19年度末で最大82億1000万円程度となる見込みです。

# 平成18年度に実施した主な事業 (一般会計)

## 総務費 (4億3,988万円)

- ・小高集落集団移転……………1億6,230万円
- ・町営バス運行費……………367万円
- ・地域資源活用プラン策定業務……………284万円
- ・バス停修繕及び設置工事……………175万円
- ・第5次総合計画策定業務……………144万円
- ・街灯修繕工事……………134万円

## 民生費 (6億4,851万円)

- ・児童福祉対策
  - 児童手当……………3,322万円
  - 保育所運営費……………1億1,561万円
- ・被災者生活再建支援事業補助金……………1,763万円
- ・障害者福祉対策
  - 更生医療給付……………170万円
  - 舗装具給付……………75万円
  - 障害者支援……………4,269万円
- ・在宅老人福祉対策
  - 介護予防生活支援……………576万円
  - 老人クラブ補助……………173万円
  - シルバー人材センター補助……………300万円
- ・県単医療費助成
  - 重度心身障害者医療費……………838万円
  - ひとり親家庭医療費……………239万円
  - 老人医療費……………44万円
  - 乳幼児医療費……………750万円
- ・町単独福祉対策
  - すこやか誕生祝金……………60万円
  - 父子手当……………37万円
  - 精神障害者・腎臓機能障害者医療費助成……………79万円
  - 特定疾患・精神障害者交通費助成……………27万円
  - 福祉タクシー利用料助成……………29万円
  - 心身障害者扶養共済掛金助成……………14万円

## 衛生費 (2億1,521万円)

- ・生活習慣病予防事業
  - 基本健診……………602万円
  - がん検診……………714万円  
(子宮がん・肺がん・乳がん・胃がん・大腸がん)
  - 生活習慣病予防改善運動指導業務……………427万円
- ・一般廃棄物収集業務……………1,869万円
- ・予防接種・結核健康診断……………645万円
- ・小千谷地域広域事務組合負担金(ごみ、し尿分)……………1億133万円

## 農林水産業費 (4億1,851万円)

- ・県営事業負担金(牛ヶ島農免農道)……………1億2,174万円
- ・農村振興総合整備事業(集落道2路線)……………1億3,410万円
- ・営農体制復興支援事業補助金……………2,619万円
- ・中山間地域等直接支払制度補助金……………1,632万円
- ・農業振興費補助金……………150万円

## 商工費 (3億2,447万円)

- ・観光施設管理費……………2,653万円
- ・宿泊・温泉施設管理費……………2億5,878万円
- ・観光案内板改修工事……………100万円
- ・地方産業育成資金貸付金……………800万円
- ・商工組合中央金庫貸付金……………1,000万円
- ・商工業振興・地域活性化事業補助金……………260万円

## 土木費 (6億4,726万円)

- ・道路改良・舗装事業……………1億5,433万円  
(改良1路線、舗装10路線)
- ・まちづくり交付金事業……………1億982万円  
(流雪溝、改良1路線)
- ・町道除排雪業務委託……………5,547万円
- ・公営住宅駐車場整備(よしとみ住宅)……………2,636万円
- ・小規模改良住宅建設(小高団地)……………7,964万円

## 消防費 (1億4,874万円)

- ・耐震性貯水槽設置工事(役場前)……………802万円
- ・消防器具置場新設工事(和南津)……………399万円
- ・小千谷地域広域事務組合負担金(常備消防分)……………1億629万円
- ・地域防災計画、国民保護計画、避難マニュアル策定……………462万円

## 教育費 (2億7,916万円)

- ・学校施設等改修工事(各小中学校)……………143万円
- ・スクールバス更新(2台)……………1,832万円
- ・地域子ども活動支援事業補助金……………33万円
- ・荒屋遺跡用地構入費……………156万円
- ・トレーニングルーム運営経費……………1,426万円
- ・奨学金貸与事業……………744万円
- ・パソコン借上料(小学校・中学校)……………1,005万円
- ・町指定文化財災害復旧費補助金……………88万円

## 災害復旧費 (47億4,084万円)

- ・農地農業用施設(266箇所)……………14億3,831万円
- ・林業施設(3路線)……………4,545万円
- ・錦鯉養殖施設(8箇所)……………2,988万円
- ・公共土木施設(95箇所)……………13億852万円
- ・公園施設(10箇所、2棟)……………5億9,187万円  
(川口町運動公園、滞在型宿泊施設、研修施設)
- ・集会施設(2棟)……………4,335万円
- ・罹災者公営住宅建設事業(85戸)……………9億9,539万円
- ・公営住宅建替事業(16戸)……………2億7,194万円
- ・公立学校施設(小学校2校、給食センター)……………1,534万円

## ○簡易水道事業特別会計

	18年度	17年度
歳入	6億1,767万円	6億8,376万円
歳出	5億7,333万円	6億536万円
差引	4,434万円	7,840万円
翌年度繰越金	170万円	1,435万円
実質収支額	4,264万円	6,405万円

- ・給水人口……………5,251人
- ・普及率……………99.5%
- ・一般会計からの繰入金……………500万円

## ○下水道事業特別会計

	18年度	17年度
歳入	5億7,976万円	17億6,046万円
歳出	5億2,921万円	17億5,297万円
差引	5,055万円	749万円
翌年度繰越金	236万円	1万円
実質収支額	4,819万円	748万円

- ・供給開始区域内人口……………5,203人
- ・下水道普及率……………98.1%
- ・水洗化率……………90.0%
- ・一般会計からの繰入金……………1億9,795万円

## ○ガス事業会計 収益的収支

	18年度	17年度
歳入	1億7,318万円	1億8,314万円
歳出	1億6,555万円	2億270万円
差引	763万円	△1,956万円

## 資本的収支

	18年度	17年度
歳入	1億1,716万円	2億4,348万円
歳出	1億5,248万円	2億8,459万円
差引	△3,532万円	△4,111万円

- ・供給戸数……………1,408戸
- ・ガス販売量……………165万5,552m<sup>3</sup>
- ・普及率……………103.5%

## ○国民健康保険特別会計

	18年度	17年度
歳入	4億8,372万円	4億6,614万円
歳出	4億7,472万円	4億5,515万円
差引	900万円	1,099万円
翌年度繰越金	737万円	0万円
実質収支額	163万円	1,099万円

- ・被保険者数……………1,837人
- ・1人当たり保険料……………62,763円
- ・1人当たり医療費……………344,337円
- ・一般会計からの繰入金……………7,327万円

## 特別会計の決算

### 国民健康保険

老人医療費、高額療養費の増加に伴い、歳出は前年度に比べ1957万円の増加になりました。翌年度繰越金を差引いた実質収支は163万円の黒字決算となりました。

### 老人保健

医療給付費、医療支給費は微増したものの、前年度の補助金の精算返納額が大幅に減少したため、歳出は前年度に比べ1631万円の減少となり、1596万円の黒字決算となりました。

### 介護保険

震災による一時的な施設利用者が減少したこと、施設サービス単価が下がったことで、保険給付費が減少となり、歳出は前年度に比べると3111万円の減少になりました。翌年度繰越金を差引いた実質収支は2298万円の黒字決算となりました。

### 簡易水道事業

震災復旧工事の完了に伴い、災害復旧費が減少し、歳出は前年度に比べ3203万円減少となりました。翌年度繰越金を差引いた実質収支は4264万円の黒字決算となりました。

### 下水道事業

農業集落排水施設、合併浄化槽施設災害復旧工事が前年度に完了したこと、公共下水道施設災害復旧費が大幅に減少し、歳出は前年度に比べると12億2376万円の大幅減少になりました。翌年度繰越金を差引いた実質収支は4819万円の黒字決算となりました。

### ガス事業

収益的収支は、震災に伴う特別損失の減少により763万円の純利益を計上することができました。資本的

収支は、震災復旧工事に係る建設改良費が大幅に減少し、支出は1億3211万円の減

少となりました。問い合わせ 総務課



# 第3回魚沼美術展と

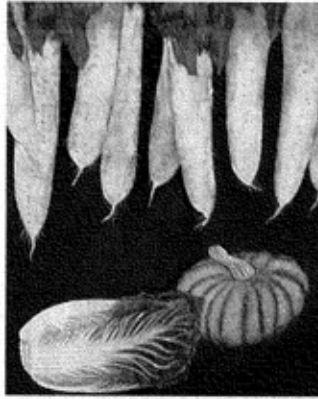
## 八海山写生コンテストで栄誉

第3回魚沼美術展（魚沼市文化協会主催）が9月7日から9月11日まで、小出郷総合体育館で行われ、日本画部門で、中林政美さん（川岸）の「収穫の喜び」が魚沼市長賞に選ばれました。

作品について中林さんは、「絵になりにくい大根を主役として、苦勞して作った野菜を収穫する時の感動を絵に表現したかった」と話していました。

洋画部門では、星野正雄さん（川口4）の「雪解けの頃」が新潟日報美術振興賞に選ばれました。

また、第8回写生コンテスト八海山を描く（トミオカホ



中林政美さん「収穫の喜び」



星野正雄さん「二月の朝」

ワイト美術館等主催）において、一般一部（二十〜五十号）で星野正雄さんの「二月の朝」が、一般二部（六〜十号）で中林政美さんの「梅雨明けの八海山」がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。

受賞した星野さんは、「第1回から出品してきました。その時入選したことが、定年後のライフワークに絵を描こうと決めたきっかけです。これからも八海山を描きつづけていきたいと思います。」と話していました。

川口町からの入選者は次のとおりです。（敬称略）

### 第3回魚沼美術展

【日本画部門】  
魚沼市長賞  
中林 政美（川岸）  
「収穫の喜び」

【洋画部門】  
新潟日報美術振興賞  
星野 正雄（川口4）  
「雪解けの頃」

入選  
大淵陽一（前原）、小宮山豊彦（新敷）丸山カツイ（貝ノ沢）

【書道部門】  
入選  
古田島ケイ（中山）、中澤朋子（原新田）

### 第8回八海山写生コンテスト

【一部一般】  
最優秀賞  
星野 正雄（川口4）  
「2月の頃」

奨励賞  
小宮山豊彦（新敷）  
【二部一般】  
最優秀賞  
中林 政美（川岸）  
「梅雨明けの八海山」

入選  
大淵 陽一（前原）

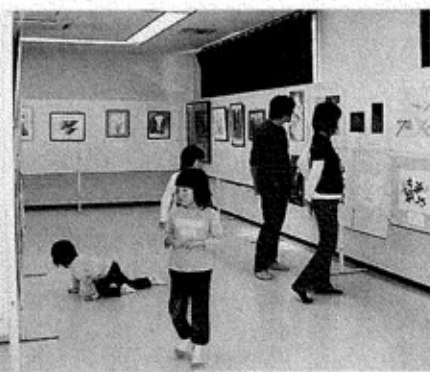
# 文化祭・芸能発表会に 出展・出演しませんか

町生涯学習センターにおいて、文化祭・芸能発表会を開催します。日頃の成果を発表してみませんか。多くの方の参加をお待ちしています。

## 【文化祭】

展示期間 11月2日(金)〜4日(日)  
内容 絵画・書道・工芸品・写真等

【芸能発表会】  
日時 11月3日(土) 13時〜  
会場 生涯学習センター



申込期限 10月22日(月)  
問い合わせ 教育委員会  
☎89-2119

## 作品展

# 心の旅を描く

～田麦山からトミオカホ～

田麦山出身の森山勇さん（埼玉県在住）の描いた作品を展示します。森山さんは、震災で破壊された故郷の家々や自然を描き続けており、「作品を観て、元気を出してもらえれば」と話しています。この機会にぜひご覧ください。

期間 10月6日(土)〜14日(日)  
会場 交流体験館「杜のかたらい」  
開館時間 10時〜17時  
休館日 火曜日  
観覧料 無料  
問い合わせ 教育委員会  
☎89-2119

# 夏休みの楽しい思い出 ついでにネイチャーランドに警梯に参加して

長岡広域市町村圏（長岡市、小千谷市、見附市、出雲崎町、川口町）の小学5、6年生を対象に、自然の素晴らしさや一緒に活動することの楽しさを知ってもらい、自主性や社会性を育むことを目的に、8月20日〜22日（2泊3日）に福島県猪苗代町で「ワンパクネイチャーランドin警梯」が開催されました。



川小6年 佐藤佳奈子

小学生125名が参加し、ミステリークッキング、洞窟探検、カヌー等大自然の中で様々な体験をしました。川口町からは、佐藤佳奈子さん（川小6年）が参加し、次のような感想を寄せてくれました。



八月二十日少し不安だった。なぜなら今日から二十一日までキャンプだからだ。友達作れるかな。気持ち悪くならないかな。忘れ物ないかな。などそんな不安が頭から出てきた。そして集合場所に集まり、バスも出発した。そして福島についての講堂でやっと友達を作れた。その後にも友達を作れた。計四人も友達を作れた。プログラムが一番楽しかったのが、ミステリークッキングだった。作った料理名は、「焼肉シーフードミックス焼きそば」だ。とてもおいしかった。自分たちで作るのはほとんどないからいい機会だ。夜のナイトハイクはすごく恐かった。熊が出てきそうでいやだった。ゴールした時は、熊にあわなくて本当に良かった。本当に良かったのは、友達ができて良かった。

## 平成20年4月から始まります

### 後期高齢者医療制度②

来年4月からスタートする「後期高齢者医療制度」についてお知らせします。

### 保険証は

後期高齢者医療制度に入ると、対象者となる人全員に新しい保険証が1人に1枚交付されます。保険証の申請手続きは不要です。来年3月下旬に町から保険証を送付します。

医療機関で医療を受ける時、現在保険証と老人医療受給者証の2種類が必要ですが、新しい制度では保険証1枚のみの提示で受診できます。

### 後期高齢者医療制度による医療費の財源は

医療費の財源内訳は、後期高齢者の医療にかかる費用のうち、みなさんが医療機関で支払う窓口負担を除いて、公費が5割、若年者からの支援金が4割、残りの1割を高年齢者の皆さんからの保険料となります。

※原則保険料は年金から天引きされますが、天引きができない方については、後日、町から「預金口座振替依頼書」を送付します。

問い合わせ 町民課  
☎89-4418



医療費の自己負担割合は、現在の老人保健制度と変更はありません。



# HOT トピックス

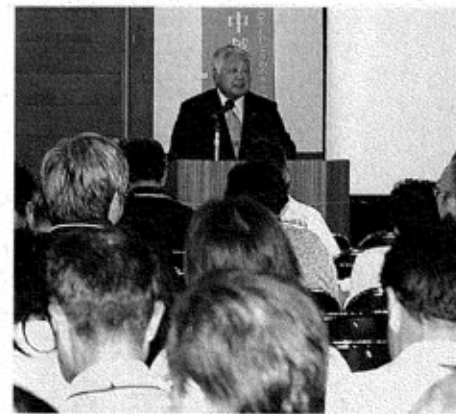
身近な情報をお寄せください! 企画商工課 ☎ 89-3112

## 中越地域の交流に 川口町で地域復興交流会議開催される

9月1日、2日、第2回地域復興交流会議が交流体験館「杜のたらい」で行われました。これは中越地域で活動する団体・地域が一同に会し、情報交換や交流の場として催されたものです。今回は第2回目で当町を会場として行われました。

会場は各地域の「のぼり旗」が飾られ、賑やかな雰囲気。

1日目は、さまざまな地域活性化の取り組みを進めている島根県海士町長山内道雄氏から「小さな島の挑戦〜最後尾から最先端へ〜」と題した講演がありました。また各地域・団体の活動をグループ別に発表するお見合い会では町



▲海士町長 山内道雄氏の講演

内9つの団体・地域がそれぞれの活動を発表しました。

2日目は新潟県県民生活・環境部震災復興支援課長丸山由明氏より、「中越大震災から3年を迎え復興へ更なるステップ」と題して講演が行われました。

また川口町内の地域づくり団体間での情報交換会では、それぞれの団体の活動内容やこれから実施したいこと、夢などを語り、お互いの情報・意見を交換しました。参加者は町内団体の様々な活動に刺激を受けていました。



▲活動発表

## 狛江市民との交流「寄りあい」 木沢・荒谷地区など親睦深める

9月7日、8日の1泊2日で狛江市地域センターが当町を訪れ、2年ぶりの「寄りあい」が開催されました。当町からは木沢地区、荒谷地区、町生産者協議会交流部会の皆さんが参加。台風が迫っていたことで、スケジュールを変更しての開催となりました。しかし天候とは別に古民家においての「寄りあい」は大盛況。集落の特色ある郷土料理や、つきたてのお餅に舌鼓、会話も大いに盛り上がりしていました。

翌日は、木沢焼きの釜場や道の駅を見学した後、多摩川いかに



レースで交流のある「游川の会」の皆さんと昼食交流会を行いました。鮎に串を刺す体験では、上手く刺せず悪戦苦闘していました。が、「鮎の塩焼きはおいしい」と言って食べていました。

## 交通安全に気をつけてね

### 園児たちが交通安全の呼びかけ

「秋の全国交通安全運動」中の、9月26日、国道17号沿いにおいて交通安全指導所を設置しました。同指導所は国道を通過する車両を対象に、安全運転の呼びかけを行うものです。

当日は岡村町長をはじめ、小千谷警察署長、町交通安全協会、西川口保育園児13名などが参加。園児たちはちびっこ交通安全隊とし



てドライバーに元気な声で交通安全を呼びかけていました。

## 元気です!かわぐちっこ ⑫

小林 夢花 ちゃん (八郎場・2歳)

おとうさん 賢一さん  
おかあさん 美紀子さん



いつも遊んでくれるおじいちゃん、おばあちゃんが大好きな夢花ちゃん、ママゴトやお医者さんごっこで遊んでもらいます。赤ちゃんの人形と仲良しで抱っこしてあげたり、着替えさせたり、ミルクを飲ませてあげたりします。休日にはお父さん、お母さんと公園のスベリ台やブランコで遊ぶことが楽しみな夢花ちゃんでした。

## 俳句 (8月) 大内迪子先生選

特選句

万緑の磐梯山に雨けふる  
乳ふくむ子の汗を拭き母も拭き

入選句

梅を干す手に年輪のきざまれし  
古希過ぎて実家の遠く蝉しぐれ  
十葉の匂う山小屋にぎりめし  
侘び住まひながら花火見特棧敷  
かなかなや一人降り立つ無人駅  
浴衣着て下駄を鳴らして歩きけり  
孫植えしトマトの赤く二つ三つ  
絵日傘に二人で入りて立ち話  
肩車神輿みせつつゆすり上げ  
簾ごし月を見ながら箸をとる  
雨の中紗羅の花のみ涼しげに  
炎昼の水に遊べる雀かな  
朝の茶の話題を占める大花火  
俳句 (中越地震から3年を迎えた故郷に寄せて)  
はるかなる田麦山には錦映え

- |     |          |
|-----|----------|
| 山田  | チヨ       |
| 藤田  | 節子       |
| 岡村  | 佐和子      |
| 石坂  | シゲ       |
| 喜多村 | キヨ       |
| 鈴木  | 良仙       |
| 中沢  | 昭一       |
| 真島  | セツ       |
| 星野  | きの       |
| 丸山  | 好枝       |
| 三輪  | 京子       |
| 目黒  | せつ       |
| 森山  | 菊江       |
| 渡辺  | 登子       |
| 佐藤  | 信        |
| 佐藤  | 栄吉 (千葉県) |

- 次会のお知らせ  
10月7日(日) 生涯学習センター 13時から
- 第17回川口町民俳句大会  
10月20日(土)

## 人口のうごき

19. 9. 20現在	*( )内は前回からの増減	
男	2,540人	(±0)
女	2,764人	(-1)
人口計	5,304人	(-1)
世帯数	1,527世帯	(-1)

